



特集 未来へ羽ばたけ！新成人

—— 子どもが大人の仲間入りを果たす、
記念すべき日である「成人式」

今回の特集は、晴れて成人を迎える若者たちにスポットを当て、式が行われるまでの過程や成人式実行委員たちの式にかける想い、そして当日の様子を写真中心に掲載します。

伊奈町の成人式は、ほかでもない新成人自らの手でつくりあげられています。
今年は新成人代表として27名が成人式実行委員として準備・企画、さらには当日の運営を行いました。



▲表紙の撮影にご協力いただいたのは成人式実行委員の大塚彩友美さん
式当日は国歌斉唱のピアノ伴奏を務めました。

昨年10月から委員会を4回重ね、式典の役割分担や記念事業の企画等を行いました。開催2日前にはリハーサルを行い、式の流れ等を確認して当日に備えました。



▲式当日の「成人の誓い」を練習する実行委員長の松口七海さん



成人式実行委員会を代表して、委員長を含む3名に中学生時代の写真とともに式にかける想いを聞きました

実行委員がそれぞれ学校や仕事で忙しい中、予定を合わせて集まり、委員会を進めていくのはとても大変でした。ですが、実行委員全員で一生懸命考え、自分たちの成人式を「絶対いいものにする。」と



という気持ちで企画してきました。絶対に記念に残るよいものになると思います。

人生に一度しかない20歳の記念です。今まで育ててくれた親への感謝、地域への感謝、恩師、友人への感謝。それぞれの20年間の想いを込めて、伊奈町の新成人全員が人生の1ページとして思い出に残るような成人式にしたいです。



実行委員長 松口 七海さん



副実行委員長 工藤 彩夏さん

委員会を進める際は記念事業の話し合いや記念品の買い出しが大変でした。なかなか記念品の案が出ず苦戦しました。また、買い出しでは一つひとつの景品が大きく重かったのでみんなで助け合いながら買い出しを行いました。景品を抱えながらお店をはしごするのは本当に大変でした。

約4か月をかけて実行委員で話し合ってきたので、みんなの思い出に残る式にしたいと思います。また、一生に一度しかない成人式なので、なるべくたくさんの方に来ていただききたいと思います。



成人式をつくりあげる中で、実行委員がなかなか集まらなかったり、それぞれの意見が合わなかったりすることがありましたが、委員長や副委員長がしっかりと委員会をまとめてくれて、さらに実行委員全員が協力して会議が円滑に進みました。

成人式は人生で1回しかないものなので、二十歳という節目に中学生のころの先生方や1番お世話になった両親に感謝し、これから社会人として自立していきたいとの思いを成人式を通して伝えたいと思います。客観的に見ても恥ずかしくなく、いい思い出になるような式にしたいです。



実行委員 篠崎 駿介さん

▶NEXT PAGE

では、夢と希望を胸に抱え、キラキラ輝く新成人たちをご覧ください!